

「寿柱立万歳」 上演年表

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
一九一五	大正4	10/23~	御霊文楽座	仮名手本忠臣蔵	道行窓の初旅(南部・鍛・越見・鶴尾・源路)寛治郎・叶・勝市・団六・友之助・小綱)。 ※三十四日間、十一月二十三日打上。御大典を祝し伊勢の御社の前で万歳が踊るところ加える(「義太夫年表 大正篇」)。	万才(栄三)、才蔵(文五郎)。
一九三〇	昭和5	1/1~	四ッ橋文楽座	御祝儀 寿式三番叟 引抜き柱立万歳	(相生/島・越名・源路・辰/長子/文)勝市・芳之助・友之助・友造・友平・綱右衛門)。 ※竣工記念興行。 ※卅四日間(「文楽興行記録昭和篇」)。	万歳(栄三)、才蔵(文五郎)。
一九三二	昭和6	7/1・2	京都南座	寿式三番叟 引抜き柱立万歳	(万歳)相生・才蔵(つばめ・ツレ文・播路・隅栄・文字栄)芳之助・友衛門・市之助・広二・道造・才三)。	万歳(栄三)、才蔵(文五郎)。
一九三五	昭和10	1/2~20	四ッ橋文楽座	御代の春寿万歳	(万歳)南部・才三(小春・鏡/長尾・陸路/播路・駒尾/隅栄・町/貴鳳)吉弥・重造・友衛門・吉左/喜代之助・叶太郎/友作・八造/団二郎・友駒/綱治)。 ※千鶴楽は「文楽興行記録昭和篇」に拠る。	大夫(扇太郎)、才蔵(紋十郎)。
一九三九	昭和14	1/1~	四ッ橋文楽座	寿柱立万歳 引ぬき団子売の段	(万歳)文字・才三(織・ツレ富・常子・隅若)吉左・団六・鶴太郎・市之助・友十郎)引抜き団子売(杵造)相生・お福(源・さの・駒若・土佐夫)吉弥・友造/友平・猿二郎/友若・団伊三・友蔵・吉蔵)。 ※千鶴楽は「文楽興行記録昭和篇」に拠る。	万歳(玉幸)、才三(紋十郎)。
一九三九	昭和14	2/4・5	京都南座	(寿式三番叟) 引抜き柱立万歳	(和泉・伊達・文・辰・松島)吉左・新太郎・清友・団作・広弥)。 ※「近代歌舞伎年表 京都篇」に拠る。	万歳(玉幸)、才三(紋十郎)。

「寿柱立万歳」(上演年表)

「寿柱立万歳」(上演年表)

△

西曆	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
一九三九	昭和14	2/11~15	神戸 松竹劇場	(寿式三番叟 引抜柱立万歳)	※『松竹百年史』に拠る。	(不明)
一九三九	昭和14	3/24~26	東京 明治座	(寿柱立万歳)	(万歳―相生・才三―文・ツレ 蔵・寛市)。	万歳(玉幸)、才三 (紋十郎)。
一九四一	昭和16	1/1~26	四ツ橋文楽座	寿柱立万歳	(太夫―和泉・才三―長尾 尾・富―叶・友平・叶太郎 ／竜市)。 ※千稚業は『文楽興行記録昭和篇』に拠る。	太夫(光之助)、才 三(文作)。
一九四一	昭和16	12/9~13	東京 新橋演舞場	寿柱立万歳	(太夫―南部／伊達・才三―長尾 勝平・重造・八造・団伊三・清友 ／一郎右衛門・団作・仙松)。	太夫(光之助)、才 三(文作)。
一九四六	昭和21	4/28~5/19	四ツ橋文楽座	寿柱立万歳	(太夫―浜・才三―つばめ・富 ※日程は『文楽興行記録昭和篇』に拠る。	太夫(光造)、才三 (栄三郎)。
一九五〇	昭和25	1/7~10	松坂屋会館 (組合派)	寿柱立万歳	(七五三・つばめ・英・呂賀 ※大阪第二回自主公演)。	太夫(玉徳)、才三 (紋昇)。
一九五二	昭和27	1/2~23	四ツ橋文楽座 (因会)	寿柱立万歳	(太夫―静・才三―長子・ツレ 清友)。 ※越名太夫改め五世竹本南部太夫・清二郎改め鶴沢藤蔵襲名披露。	太夫(文雀)、才三 (玉五郎)。
一九五二	昭和27	2/13・14	四ツ橋文楽座 (因会)	(柱立万歳)	(太夫―静・才三―長子・弘 ※第一回学生文楽教室)。	太夫(文雀)、才三 (玉五郎)。

「寿柱立万歳」(上演年表)

一九五四	昭和29	7/1~6	京都 南座 (因会)	寿柱立万歳	(太夫―雛・才三―南部・ツレ 織部・十九・相子 豊助・友十郎・清友・新三郎・清好・喜八郎)。	大夫(玉五郎)、才三(玉男)。
一九六六	昭和41	1/7~16	東京 三越劇場	寿柱立万歳	(太夫―十九・才蔵―伊達路・ツレ 相子・津弥・松香・小春 錦糸・燕三・団二郎・清治・寛弘・勝之輔)。 ※豊竹若大夫・鶴沢寛治の叙勲を祝つて。	大夫(清十郎)、才蔵(玉五郎)。
一九七七	昭和52	2/5~19	東京 国立劇場 小劇場	伊賀越道中双六	藤川新関の段 引抜き寿柱立万歳(助平 咲・志津馬―英・お袖 津駒・ツレ三輪 叶太郎・団二郎・弥三郎・燕太郎)。 ※鶴沢叶太郎休演、竹沢団二郎が繰り上がり、二枚目を鶴沢清介が代演。	万歳鶴大夫(文昇)、才造亀吉(玉松)。
一九七八	昭和53	1/2~23	朝日・座	寿柱立万歳 引抜き団子売	(太夫―嶋・才三―相生・ツレ 津駒・津国・南司・文字栄 勝平・勝司・清介・浅造・弥三郎)。	大夫(小玉)、才三(二暢)。
一九八五	昭和60	4/7~22	国立文楽劇場	寿柱立万歳	(太夫―英・才三―緑・ツレ 津駒・貴・三輪・千歳/津梅 清友・浅造・弥三郎・八介・団治・清二郎)。 ※国立文楽劇場開場一周年記念・七世竹本住大夫襲名披露。	大夫(文吾)、才三(紋寿)。
一九八五	昭和60	5/11~26	東京 国立劇場 小劇場	寿柱立万歳	(太夫―緑・才三―貴・ツレ 三輪・千歳/津梅・南司/文字栄 清友・浅造・八介・団治・清二郎)。 ※国立文楽劇場開場一周年記念・七世竹本住大夫襲名披露。	大夫(文吾)、才三(紋寿)。
一九九〇	平成2	4/6~24	国立文楽劇場	寿柱立万歳	(太夫―緑・才三―貴・ツレ 津梅・呂勢 清介・八介・清二郎・清太郎)。 ※国際花と緑の博覧会協賛。	大夫(勘寿)、才三(紋寿)。
一九九五	平成7	1/3~25	国立文楽劇場	寿柱立万歳	(太夫―松香・才三―津駒・ツレ 南部・呂勢・新・咲甫 八介・団治・浅造・喜一郎・団市・清志郎)。	大夫(清之助)、才三(鏡太郎)。

「寿柱立万歳」(上演年表)

西曆	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
一九九六	平成8	6/5~25	国立文楽劇場	寿柱立万歳	【5~14日・午前の部】(太夫―松香・才三―津国・ツレ文字久・文字栄・始 燕二郎・浅造・団吾・団市。 ※鶴沢浅造十二日~十四日休演、野沢喜一朗が代演。 【5~14日・午後の部】(太夫―三輪・才三―南都・ツレ呂勢・新・咲甫 錦弥・清太郎・喜一郎・清志郎)。 【15~25日・午前の部】(太夫―貴・才三―文字久・ツレ呂勢・新・咲甫 弥三郎・清太郎・喜一郎・清志郎)。 【15~25日・午後の部】(太夫―津駒・才三―千歳・ツレ南都・文字栄・始 八介・浅造・団吾・団市)。 ※鶴沢浅造休演、野沢喜一朗が代演。 ※第13回文楽鑑賞教室。'96国際演劇月参加。	太夫(勘寿)、才三(文吾)。
一九九八	平成10	4/4~26	国立文楽劇場	寿柱立万歳	(太夫―緑・才三―三輪・ツレ文字栄・新・始・咲甫 喜左衛門・八介・清太郎・喜一郎・団吾・清志郎)。 ※鶴沢清太郎休演。	太夫(玉英)、才三(清之助)。
二〇〇二	平成14	1/3~25	国立文楽劇場	寿柱立万歳	(太夫―千歳・才三―津国・ツレ文字栄・新・咲甫・つばさ/相子 団七・弥三郎・清太郎・団吾・清造)。	太夫(勘寿)、才三(二暢)。
二〇〇五	平成17	8/27~28	愛媛内子座	寿柱立万歳	(太夫―文字久・才三―咲甫・ツレ靖 宗助・清造・清丈)。	太夫(勘緑)、才三(文司)。
二〇〇六	平成18	4/1~23	国立文楽劇場	寿柱立万歳	(太夫―英・才三―三輪・ツレ始・貴・睦・呂茂/芳穂・靖/希 団七・弥三郎・団吾・龍爾・寛太郎)。	太夫(勘弥)、才三(紋豊)。